

第5回カーディフ応用言語学と
日本語教育実践のためのシンポジウム

B2レベルの文章表現能力の養成について —JFS B2教材を例に—

国際交流基金 マドリード日本文化センター
(国際交流基金 日本語国際センター)

篠崎 摂子

setsuko.shinozaki@fundacionjpon.es

2018.9.14.

JFS B2教材について

- JFS=JF日本語教育スタンダード(国際交流基金2017)
- 海外で「生涯学習」として日本語を学ぶ学習者を念頭に置いて開発されたB2(上級)レベルの教材(大船他2017)
- 国際交流基金「**みんなの教材サイト**」で4タイトルを公開中。
(教材冊子、音声・動画、教師用資料、タスク解答、スクリプト)

JFS B2教材 1

日本語で楽しもう!

目標 1 テレビ番組や本などを娯楽として楽しむことができる。

目標 2 いろいろな話題で雑談を続けることができる。



成果 現代アート

ねらい 幅広い話題に対応できる/多角的な視点で考える

1 アート関連のテレビ番組を見る
目標1に資するテレビ番組を見て、そのイベントの概要だけでなく、内容に合わせた記事のメッセージや観念などを理解することができる。

2 アート関連の本を読む
目標1の理解を深め、筆者の視点や筆者が取る視座の方法を理解することができる。

3 アートについて雑談する
いろいろなアート内容などを見たりして、見とるその感想や感想などを積極的に話し、気持ちよく雑談を続けることができる。

JFS B2教材 2

日本語で会議!?

目標 ある程度フォーマルな会議で、結論を出すための議論に積極的に参加できる。



ねらい スピーチコンテストの審査会議で順位を決めるための議論をする
スピーチコンテストのフォーマルな会議で、参加者同士で意見を調整しながら、結論を出すための議論ができる。

ねらい 議論に積極的に参加する

スピーチを 審査会議で 議論の例を もう一度 音読する 議論をする 見る 議論をする

JFS B2教材 3

どうやって伝えよう?

目標 相手の状況や気持ちを配慮してことばや表現を選んだり、伝え方を工夫したりすることができる。



ねらい 職場で伝えづらい内容のメールを書く
仕事上の緊急な内容に書き出しの急ぎや相手への配慮(敬語)などを伝えるメールを、相手の状況や気持ちを考慮し、ことばや表現を選んだり工夫を工夫したりして書くことができる。

ねらい 相手を配慮してことばを使う

自分宛のメールを 他人が書いたメールを 読む 読む 読む

JFS B2教材 4

「場に合った文章」に挑戦!

目標 自分の見解を伝えるための文章を、目的や場面に合ったスタイルで書くことができる。



ねらい 執筆依頼を受けて、自分の国の書籍を紹介するための書評を書く。
約1000文字程度(約1000文字程度)の書評を、場に合ったスタイルの文章で書くことができる。

ねらい 場に合ったスタイルで伝える

書評を読む 書評を書く 書評を書く

JFS B2教材の特徴

- (1) 課題遂行型の学習活動と汎用的な目標設定
- (2) 多技能統合型の学習
- (3) 生素材の活用
- (4) 言語項目（語彙・文法・表現など）の自律的学習
- (5) 教材サンプルとしての学習デザインの提案

（「みんなの教材サイト」JFS B2教材説明 より）

JFS B2教材④「場に合った文章」に挑戦！

JFS B2教材 ④

「場に合った文章」に挑戦！

目標 自分の見解を伝えるための文章を、目的や場面に合ったスタイルで書くことができる。



設定 執筆依頼を受けて、自分の国の書籍を紹介するための書評を書く。
ねらい 自分の国の書籍を紹介するための500字程度の書評を、場に合ったスタイルの文章で書くことができる。
ねらい 場に合ったスタイルで伝える

書評を読む → 書評を書く → 推敲する

B2レベルの文章表現能力の養成

従来の上級の文章表現教材は
アカデミックやビジネスなど
目的や場面が限定されたものが中心

具体的な目的を持たない？
「生涯学習」として日本語を学ぶ
多様な成人学習者

JFS B2教材④ 目標とCan-do

目標

自分の見解を伝えるための文章を、目的や場面に合ったスタイルで書くことができる。

Can-do

自分の国の書籍を紹介するための500字程度の書評を、場に合ったスタイルの文章で書くことができる。

実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該のジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。
(CEFR-B2.2作文を書く)

映画や本、演劇の評を書くことができる。(CEFR-B2.1 作文を書く)

通販サイトの本のレビューコーナーなどに、自分が読んだ本の書評を、自分なりの視点で、明瞭に詳しく書き込むことができる。
(JFS-B2レポートや記事を書く)

JFS B2教材④ ねらい

ねらい

場に合ったスタイルで伝える

いわゆる「書きことば」や「硬い/改まった文体」などの
「目的や場面に合った文章のスタイル」、
文章表現の「位相」の習得が必要(石黒2009,110)

上級日本語学習者の作文を読むと、内容の充実度に比べて
文章表現の技術が追いついていないため、稚拙な印象を受ける

JFS B2教材④ 設定

設定

執筆依頼を受けて、自分の国の書籍を紹介するための書評を書く。

日本の出版社から、自国の書籍を紹介する500字程度の書評の執筆を依頼され、執筆の参考となる書評を紹介される。

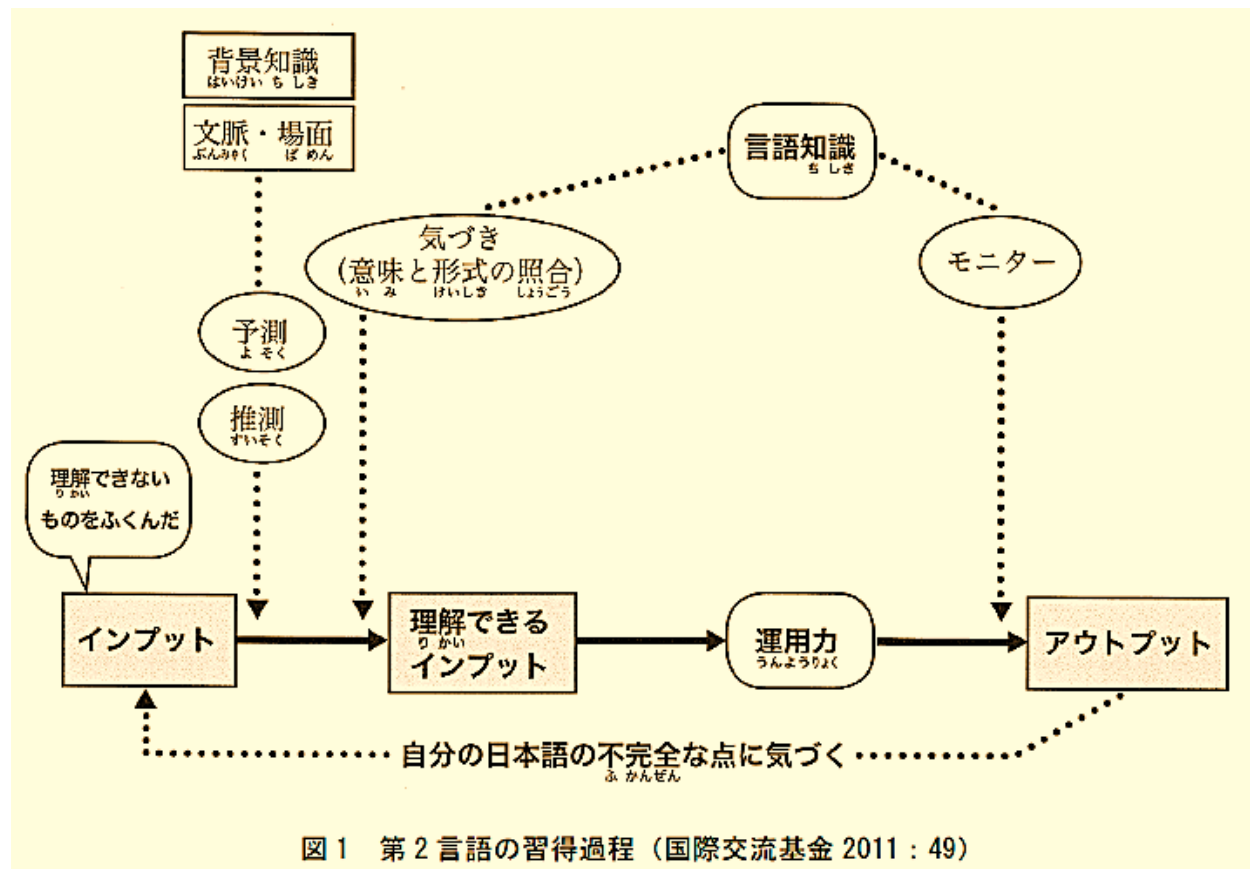
⇒ **インプット素材** (国際交流基金“Worth Sharing”)

なぜ・どんな書評を書くのか？
(目的・場面の真正性)

JFS B2教材④ 学習デザイン



インプット → アウトプット + 協働学習(ピア・ライティング)



JFS B2教材④ 授業の流れ

目標と活動の確認 (15分)	目標及びこの教材で行う活動の設定を確認し、自身の日本語使用をふりかえる	
書評を読む (75～105分)	書評の例を読んで、書評の書き方を内容面・形式面から理解し、場に合ったスタイルの文章の言語形式に注目する。	インプット
書評を書く (90～120分)	自分が選んだ本をペアで紹介し合い、書評に書く内容と使用する言語形式を考えてから、実際に書評を書いてみる。	協働学習 アウトプット
書評を推敲する (75～110分)	お互いが書いた書評についてペアで評価し合い、修正の方向やポイントを一緒に考えてから、書評を書き直す。	協働学習 アウトプット
ふりかえり (10～15分)	この教材の活動の Can-do の達成度を自己評価し、さらに、自分の生活でどのように役立てることができるか、考える	

※120分×2～3回を想定

(「教師用資料」より)

JFS B2教材④ インプット

- 言語項目(語彙・文法・表現など)の自律的学習の実現

(1) 執筆の参考として紹介された書評を読む。

⇒どんな書評を執筆すべきか？

「内容」と「形式(構成・表現)」に学習者自身が気づく。

(2) 言葉を広げよう / 書評で使う言葉や表現

⇒自分が書評を書く時に使いたい(必要な)言葉や表現を増やす

1. 【読む】書評を読む

準備1で依頼された原稿を書く参考として、“Worth Sharing”に掲載されている書評を読んでみましょう。

[A] 楊逸『すきやき』(野崎歓、国際交流基金“Worth Sharing” vol. 4所収)

[B] 古市憲寿『絶望の国の幸福な若者たち』

(張競、国際交流基金“Worth Sharing” vol. 1所収)

(1) 全体をざっと読んで、次の質問についてペアやグループで話しましょう。

Q1. この本のジャンルは何ですか。

Q2. この本を読んでみたいと思いましたか。どんなところに興味を持ちましたか。

この本を読むと、日本のどんなところが理解できると思いますか。

Q3. この本があなたの国で翻訳出版された場合、多くの人に読まれると思いますか。

⇒一般的な「書評」の読み

(2) もう一度読んで、書評の書き方を確認しましょう。次の①～③が書かれている部分を探してください。

①この本の概要

②この本で取り上げている日本の社会状況や日本人の考え方(背景)

③この本に対する評者の見解(評価)

(3) ①～③に関する質問に答えましょう。

①この本の概要(あらすじ)の書き方は、次のどちらのタイプですか。([A])

(ア)ストーリーを順序立てて詳しく紹介し、結末まではっきり書く。

(イ)登場人物や場面設定を紹介し、ストーリーのポイントだけ書く。

②この本では日本の社会状況や日本人の考え方として具体的に何を取り上げていますか。

③評者はこの本のどんなところを評価していますか。

⇒「書評」を書くための読み



言葉を広げよう

書評で使う言葉や表現

(1) 下は1で読んだ書評の一部です。あなたが書評を書くときに使ってみたい言葉や表現がありますか。

[A]本書は自らも留学生として来日したのち、小説家となって成功した作者が、中国からの女子留学生・ココちゃんの発見と喜びに満ちた日々をユーモア豊かに描いた佳作である。(略) 日中韓、それぞれの常識や発想の違いが生み出すギャップを面白く浮き彫りにしながら、作者はいわば比較文化的、あるいは多文化主義的な物語を軽やかに紡ぎ出すことに成功している。

[B]本書によると、世の中で語られている若者のイメージと若者の実像とのあいだに大きなズレがあり、ましてや本人たちの認識とまったく違うという。(略) 地道なフィールドワークと周到な資料調査のおかげで、これまでとまったく違った若者論を展開することができた。

⇒インプット素材で使われていた書評らしい言葉や表現に注目させる。

(2) 下は書評でよく使われる言葉をカテゴリ別にまとめたものです。(1)で使われている言葉の他にどんなものがあるか確認しましょう。

* 自分が知っている言葉、調べた言葉なども書き込んでおきましょう。

カテゴリー	(1)の例	その他
本の種類		新刊、文庫、新書、ライトノベル、コミック、絵本、児童書／全集、作品集、アンソロジー、詩集
ジャンル		文学、評論、ノンフィクション／小説、物語、童話、随筆（エッセー）、戯曲、詩、日記、古典、現代小説、歴史・時代小説、推理小説、ミステリー、サスペンス、ハードボイルド、SF、ホラー、ファンタジー／自伝、伝記、旅行記、報告（ルポルタージュ）
作品	佳作	ベストセラー、話題作、～賞受賞作、デビュー作、代表作、傑作、佳作、力作、原作／長編、中編、短編、掌編（ショートショート）
作者	小説家	著者、作家、小説家、詩人、随筆家（エッセイスト）、劇作家、ジャーナリスト、研究者、学者／人気作家、～賞受賞作家、新人、中堅、ベテラン、大御所、国民的作家
作品の内容に関するもの	～論	主題（テーマ）、ストーリー、設定、場面、構成、展開、起承転結、挿話（エピソード）、描写、文体／登場人物、主人公／冒頭、結末、クライマックス（山場）／問題意識、インタビュー、フィールドワーク、資料調査、分析、考察、結論、～論

⇒書評でよく使われる言葉、類義語を確認する。 14

(3)次の文の下線部は作品の内容や描写を形容する表現です。それぞれどんな意味か考えてみましょう。

- ・マーガレット・ミッチェルの『風と共に去りぬ』は、南北戦争時代のアメリカを舞台に、主人公スカーレット・オハラの波瀾万丈の半生を描いた大作である。
- ・カフカの『変身』は、青年がある朝目覚めると巨大な虫に変身していたという奇想天外な物語である。
- ・『アンネの日記』は過酷な状況の中でもユーモアを忘れずに生きた少女の成長の記録であり、戦争の悲惨さを静かに訴える名作である。
- ・ジョン・リードの『世界をゆるがした 10 日間』は、ロシア 10 月革命の現実を克明に記録したルポルタージュの傑作である。
- ・『源氏物語』は日本を代表する古典文学だが、当時の宮廷生活が色鮮やかに描かれているだけでなく、主人公をめぐる女性たちの性格・心理描写が秀逸で時代を超えて共感できる。

⇒有名な文学作品を紹介する文を読んで、特徴的な表現に触れる。

JFS B2教材④ ふりかえり

(1)具体的なCan-doの達成度の評価



自分の国の書籍を紹介するための500字程度の書評を、場に合ったスタイルの文章で書くことができる。

(2)汎用的な目標の意識化

目標

自分の見解を伝えるための文章を、目的や場面に合ったスタイルで書くことができる。

(1)具体的なCan-doの達成度の評価

★ Can-do をチェックしましょう

1: まだ難しかった 2: だいたいできた 3: 十分にできた

Can-do

自分の国の書籍を紹介する 500 字程度の書評を、場に合ったスタイルの文章で書くことができる。

評価 1 2 3
理由・感想

【チェックポイント】

- ・その本を読んだことがない人にわかりやすく内容を紹介できましたか。
- ・その本に対する自分の見解がはっきり書けましたか。
- ・自分の国の社会状況や人々の考え方を、外国人にわかるように書けましたか。
- ・"Worth Sharing"の書評などを参考に、場に合った語彙や表現を意識して書けましたか。

● 書評を書く前に"Worth Sharing"の書評を読んだことは役に立ったと思いますか。

⇒モデルとなる文章の利用

● 書評を書いたことや、書くプロセス(ペアで話してアイデアを出したり、修正したこと)に対する感想など

⇒文章作成における協働(読み手への意識)

(2) 汎用的な目標の意識化

目標についてふりかえってみよう

目標

自分の見解を伝えるための文章を、目的や場面に合ったスタイルで書くことができる。

- この教材で学習したことは、日本語で文章を書きときに役に立つと思いますか。
どんな点が役に立ちそうですか。

⇒文章表現能力の自律的養成

- これから日本語の文章を読むときは、どんな点を意識したり、どんな点に注目したりするとよいと思いますか。

⇒文章表現能力を養成するための読み

JFS B2教材④ 評価

	1 (もう少し!)	2 (できた!)	3 (すばらしい!)
内容※	必要な内容が部分的に伝わらないところがある。	必要な内容が十分に伝わる。	
使える言葉の範囲	この文章に合った語彙や表現を使おうとしているが、不十分である。	この文章に合った語彙や表現が十分に使えている。	この文章に合った語彙や表現が十分に使えているだけでなく、文章表現上の工夫がある。
構成	接続詞、指示詞、副詞の呼応などの結束表現が十分に使われておらず、文章にまとまりがない。	接続詞、指示詞、副詞の呼応などの結束表現を使って、分かりやすく構成された明快な文章を書くことができる。	接続詞、指示詞、副詞の呼応などの結束表現を効果的に使って、構成が巧みな、読みやすく明快な文章を書くことができる。

※必要な内容:

- その本の内容が、読んだことがない人でもわかるように紹介されている。
- 自分の国の社会状況や人々の考え方が、外国人でもわかるように書かれている。
- その本に対する自分の見解がはっきり書かれている。

(「みんなの教材サイト」JFS授業案「B2書評を書く」より)

JFS B2教材の特徴

- (1) 課題遂行型の学習活動と汎用的な目標設定
- (2) 多技能統合型の学習
- (3) 生素材の活用
- (4) 言語項目（語彙・文法・表現など）の自律的学習
- (5) 教材サンプルとしての学習デザインの提案

⇒みなさんのご意見・コメントをお待ちしています。

参考文献

- 石黒圭(2009)『よくわかる文章表現の技術 I 表現・表記編 [新版]』明治書院
- 大船ちさと(2018)「日本語教育通信 日本語教育ニュース JFS B2教材を公開しました！」
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/news/201809.html>
- 大船ちさと・篠崎摂子・清水まさ子(2017)「B2(上級)レベルの課題遂行をめざした教材開発—新たな教材像模索の試み—」『2017年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.402-407 日本語教育学会
- 国際交流基金(2011)『国際交流基金日本語教授法シリーズ第10巻 中上級を教える』ひつじ書房
- 国際交流基金(2017)『JF日本語教育スタンダード【新版】利用者のためのガイドブック』
- 国際交流基金「みんなの教材サイト」<https://minnanokyozaai.jp/>